

## 第6章 計画の実現に向けて

### 1 推進体制

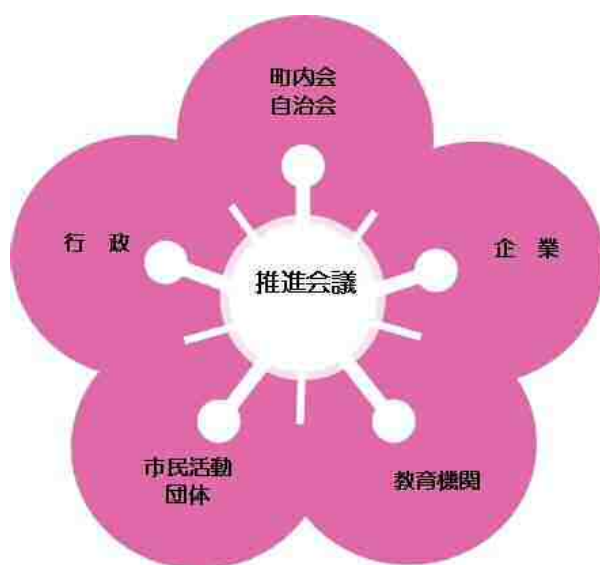
#### (1) 協働による事業推進

地域の課題を自ら発見し解決する市民協働の取組として、また市民が地域への愛着を持ち郷土の歴史や文化を継承していくためにも、「御幸公園梅香事業」では、各取組のアクションにおいて市民との協働で事業を推進していく必要があります。

市民と行政がお互いの存在を認め尊重し合い、（仮称）うめクラブによる梅林の維持管理や梅まつり等のイベントの運営などについて、対等の立場で共通の目的達成に向けて推進していくことが大切です。

項 目	協働のイメージ
計画づくり	地元町内会や老人クラブ、子ども会代表、企業、観光協会等からなる「御幸公園梅香事業推進会議」で協議・検討
梅林植樹	寄附・募金による植樹
企画運営	各種イベント等について、市民参加による実行委員会を設置し運営
維持管理	市民協働による梅林の維持管理（仮称・うめクラブの設置）
進行管理	「御幸公園梅香事業推進会議」で進行管理

#### (2) 推進会議



「御幸公園梅香事業推進計画」に基づき、事業を円滑に推進するためには、地域との協働・連携による取組の推進が不可欠です。そのためには、これまでも計画づくりに携わってきた、町内会・自治会、企業、市民活動団体、教育機関、行政が参画した「御幸公園梅香事業推進会議」を中心とした仕組みづくりが必要です。

また、梅香事業を広く展開し発展させるためには、多くの市民の協働・連携が必要で、推進会議が中心となった実行委員会による企画・運営が期待されます。

## 2 計画の進行管理と評価

御幸公園を核として、市民の集いの場を創造し地域コミュニティの活性化をめざすために、行政が事業として取り組む側面と、市民、企業等の自発的な活動で事業を実施していく側面から「御幸公園梅香事業」を推進していく必要があります。また、時代の状況変化が急速な現代にあっては、計画で設定した推進施策等の見直しも求められます。

そのため、今後も市民、企業、行政等の様々な主体からなる「御幸公園梅香事業推進会議」により、毎年の課題整理や進行管理などを行うほか、計画の見直しに際しては、計画（Plan）・実行（Do）・評価（Check）・改善（Action）のPDCAサイクルに基づき、より市民の意見を反映できるよう実施していきます。

